

(別添様式1) ※A3判(1枚)に収める。「わがまちの道徳教育推進プラン」の内容と事業実施計画書及び報告書との整合性に留意して記載すること。

わがまちの道徳教育推進プラン 宿毛市教育委員会		所管する小学校名	沖の島小学校、小筑紫小学校、咸陽小学校、大島小学校、宿毛小学校 松田川小学校、橋上小学校、山奈小学校、平田小学校		校数	9校	計	14校
		所管する中学校名	小筑紫中学校、片島中学校、宿毛中学校、橋上中学校、東中学校		校数	5校		
道徳教育推進方針		心にひびく道徳の授業の創造						
年度当初の拠点地域の状況		到達目標		中間検証(下半期に向けての改善事項)		到達目標達成状況		
道徳性に関する現状		肯定%		道徳意識調査の肯定的回答の割合の向上		到達目標達成状況		
① 道徳の勉強は、すきだ	84.7%	① 「道徳の勉強は、すきだ」	88%以上	<p>○道徳教育推進委員会を開き、1回目に推進体制の確認や、道徳教育意識調査を受けての取組策の検討を行った。特に肯定的回答の割合が低かった③を中心に協議を行い、道徳参観日の活用、学級通信や学級懇談を通しての啓発等を行った結果、9.1ポイント向上し、到達目標に迫りつつある。②・⑦についても授業を通して主体的・対話的な活動を意識して取り組む中でポイントは向上している。⑤については-3.5ポイントになっているので、キャリア教育を通して向上を図る取り組みを継続する。</p> <p>○講師を招聘し管理職、道徳教育推進教諭、推進リーダーを対象に講演会を行い、道徳の授業づくりについて研修を深めた。</p> <p>○各校1回は授業チェックシートを活用し、授業改善に取り組んだ。下半期も授業改善に努める。</p> <p>○道徳推進リーダーによる師範授業は行えなかったが、市教育研究会道徳教育研究会において、中心となり研究協議を進め、助言・授業提案等を行った。</p>		<p>○年度当初に立てた到達目標を、ほぼ全ての項目で達成することが出来た。特に肯定的回答の割合が低かった③に関しては、下半期でも各校で、道徳参観日や長期休業日、通信等を活用して、家庭と情報を共有し連携を図ったことで、中間検証時より、4.9ポイント向上し59.3%となり、目標を4.0ポイント上回った。</p> <p>○その他の項目においても、①88.2%(+0.2ポイント)、②92.8%(+2.8ポイント)、④88.1%(+0.1ポイント)、⑥93.2%(+3.2ポイント)、⑦86.4%(+6.4ポイント)と目標を達成することが出来た。これは、各校で校内研修や公開授業を行うことで教材や授業改善について全校体制で学び合ったり、総合的な学習やキャリア教育と関連づけながら学校教育全体を通して道徳教育を行ったりした成果であると考えられる。</p> <p>○⑤については、90.6%(-1.4ポイント)で目標には到達しなかったが、年度当初よりは+0.6ポイント向上している。道徳の授業を通して学ぶ様々な人々の生き方を、自分事として捉えさせ深く考えさせる授業づくりを行い、自らの人生や生き方への関心を高め、夢や目標を持つことにつなげていきたい。また、キャリアの視点を入れた授業づくりにこれからも取り組み、自分の将来について考えを深めさせたい。</p>		
② 道徳の授業では、自分の考えを伝えたり、ほかの人の考えを聞いたりしながら、自分のこと(生き方)についてよく考えている	86.7%	② 「道徳の授業では、自分の考えを伝えたり、ほかの人の考えを聞いたりしながら、自分のこと(生き方)についてよく考えている」	90%以上					
③ 家の人と道徳の話をしたり、「家庭で取り組む高知の道徳」を読んだりしている	45.3%	③ 「家の人と道徳の話をしたり、『家庭で取り組む高知の道徳』を読んだりしている」	10ポイント以上向上					
④ 自分には、よいところがあると思う	84.4%	④ 「自分には、よいところがあると思う」	88%以上					
⑤ 将来の夢や目標をもっている	90.0%	⑤ 「将来の夢や目標をもっている」	92%以上					
⑥ 人が困っているときは、進んで助けている	88.8%	⑥ 「人が困っているときは、進んで助けている」	90%以上					
⑦ 地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある	78.1%	⑦ 「地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある」	80%以上					
到達目標達成のための取組		取組計画			指標達成状況の分析			
取組項目	取組の評価指標	5月～8月		中間評価	9月～2月(中間検証を踏まえての追記・変更可)		達成状況	年度末評価
道徳教育の主体的な推進体制の整備	◆宿毛市内の小・中学校において、道徳教育推進のための校内体制ができています。	①道徳教育推進委員会(3回) ・各校の道徳教育推進教師を中心とした推進体制の確認 ・道徳教育意識調査結果の協議と取組策の検討 ②大学教授や西部教育事務所指導主事等を招聘した研修の実施 ③校長・教頭合同研修における講話の実施		B	①道徳教育推進委員会(3回) ・推進プランの進捗確認 ・児童生徒道徳意識調査の検証を踏まえた各校の実践報告と検証 ・年度の研究集約と次年度プランの作成 ②大学教授や西部教育事務所指導主事等を招聘した研修の実施 ③先進校視察の実施		講師を招聘した研修会等で講演を聞いたり、演習をしたりすることによって、まちぐるみの道徳教育の在り方や道徳科の指導方法及び学習評価について理解を深めることが出来た。また、研修会で学んだことや推進委員会で話し合ったことを自校に伝達し、学校全体のものにすることが出来た。	A
道徳科の趣旨を踏まえた指導方法及び評価の在り方に関する道徳の授業実践の研究	◆道徳授業チェックシート【児童生徒用】【教師用】におけるポイントを年度当初より向上させる。	①道徳授業チェックシートの実施と各校の授業改善策の検討 ②道徳推進リーダーによる師範授業		B	①道徳授業チェックシートの検証を踏まえた各校の授業改善に基づく実践報告・検証 ②各校の指導案等成果物の共有(CDにまとめて各校へ配布)		上半期と下半期に各校1回ずつ授業を公開し授業チェックを行った結果、教師からの診断では、8項目、児童生徒からの診断では、3項目が向上した。特に両診断において「話し合い」「時間配分」の項目で共通して向上が見られた。	A
小小連携・小中連携による小・中学校の道徳教育の充実	◆公開授業研究会に、各校1名以上参加し、研究内容を各校の取り組みに生かす。	①中学校区での小・中学校の実践交流や取組の共有 ②中学校区における道徳の全体計画の確認・共有		B	①公開授業研究(2回) ・研究協議と外部講師からの助言 ②中学校区での小・中学校の実践交流や取組の共有		小・中学校の公開授業研究会に参加し、研究内容を自校の取組に活かし、小中のつながりを考えることができた。また、授業だけでなく、学校教育全体の各校の取組について情報交換ができた。	A
学校・家庭・地域の連携を図ったまちぐるみでの道徳教育の推進	◆「家庭で取り組む 高知の道徳」を全小中学校で活用する。 ◆宿毛市全小中学校で、道徳参観日を実施する。 ◆ホームページで、小中学校の道徳教育の取組を発信する。	①参観日や学校通信等で「家庭で取り組む 高知の道徳」の内容を家庭や地域に紹介 ②道徳参観日の実施と家庭や地域へ取組成果の発信 ③ホームページを通じて、各学校の道徳教育の取組状況を定期的に発信		B	①参観日や学校通信等で「家庭で取り組む 高知の道徳」の内容を家庭や地域に紹介 ②道徳参観日の実施と家庭や地域へ取組成果の発信 ③ホームページを通じて、各学校の道徳教育の取組状況を定期的に発信		参観日後の懇談会で「高知の道徳」について啓発を行い、授業で扱った後や長期休業中に家庭でも活用する取組を行った。また、学校通信でも取り扱うことで、地域に発信することができた。しかし、意識調査の肯定的割合が他の項目と比べて低いので、引き続き啓発を行っていく。	B

※評価 A(十分できた) B(おおむねできた) C(あまりできていない) D(全くできていない)